

景況調査

第17回「県内企業景気動向調査」(概要※)

※詳細は調査レポート (<http://www.sfsi.co.jp/>) をご覧ください。

1. 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

2. 調査の方法

オンライン・アンケート (894社*)

※有効回答数465社 (回答率52.0%)

3. オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合)

- (「悪い」と回答した企業の割合)

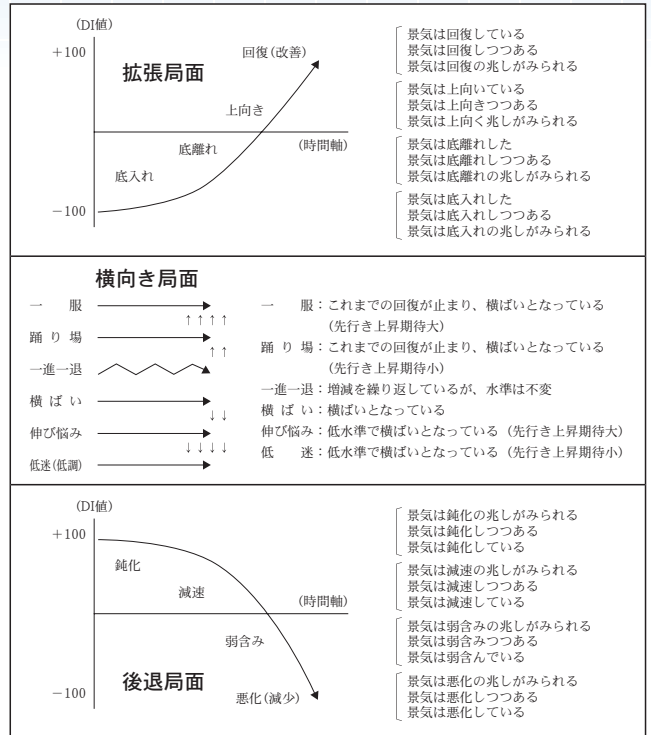
4. 調査期間

平成20年11月4日(火)~17日(月)

5. 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

6. 基調判断用語の凡例



景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値 (前年同期比) を5段階に分けて図解したものの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

■ 県内企業の景気動向

現状判断：悪化している。

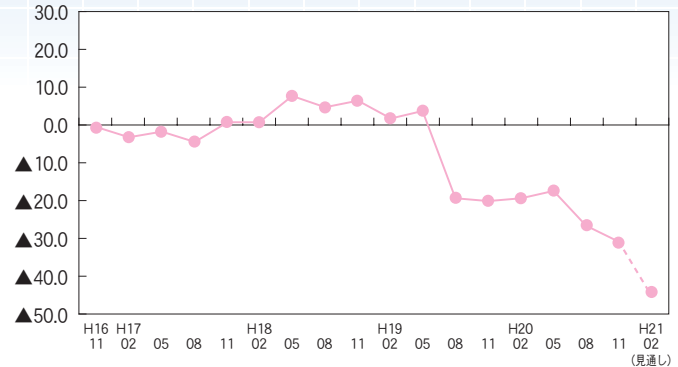
業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲31.0となっており、前回より4.2ポイント低下するなど、引き続き悪化している。

世界的な景気の後退が鮮明になりつつある中で本県の主力産業である製造業の業況が急速に悪化した影響などから、雇用不安や資金繰りの悪化による企業の倒産懸念も拡大している。

来期の見通し：先行き不安感が拡大。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が14.4ポイント低下して▲45.4となるなど、引き続き先行き不安感が拡大している。

自社業況DI値の推移（前年同期比）



年	月	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H20	08	▲26.8	▲60.2	▲10.8	▲26.2	▲7.6	▲24.0
H20	11	▲31.0	▲65.8	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H21	02 (見通し)	▲45.4	▲71.4	▲38.5	▲41.9	▲12.2	▲44.8

■ 業種別の動向

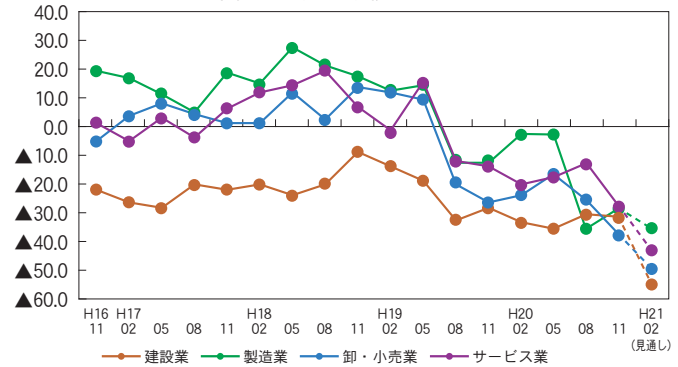
現状判断

業種別では、前回大幅に業況DI値が低下した製造業で前年同期比▲28.8となっており、引き続き低い水準となった。また、卸・小売業ではDI値が11.4ポイント下落して▲37.2となったほか、サービス業でもDI値が14.3ポイント低下して▲27.1となるなど、業況不振が内需関連業種にも飛び火した格好。建設業はDI値が▲31.5と低い水準で横ばいであった。

来期見通し

今期大幅な落ち込みを見せた卸・小売業やサービス業では業況DI値のさらなる悪化が見込まれるなど、内需関連業種を中心に先行き不安感が拡大している。加えて、建設業では慢性的な需要不足などもあり、DI値は▲54.9と4業種の中で最も低かった。

業種別DI値の推移（前年同期比）



年	月	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H20	08	▲30.5	▲35.7	▲25.8	▲12.8
H20	11	▲31.5	▲28.8	▲37.2	▲27.1
H21	02 (見通し)	▲54.9	▲35.6	▲49.1	▲43.0

■ 地域別の動向

現状判断

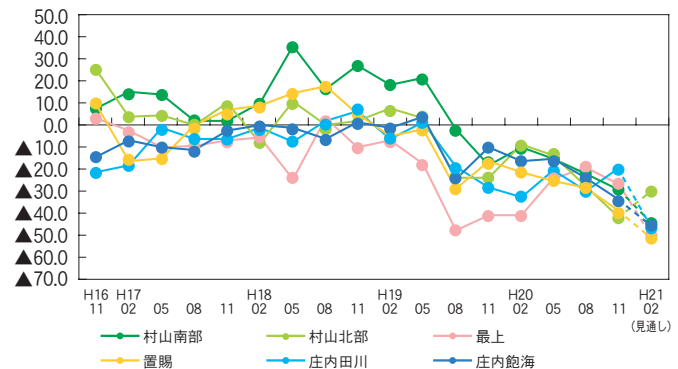
地域別では、製造業の業況悪化を受けて村山北部や置賜など製造業の集積が進んでいる地域ではDI値の低下が目立った。村山北部は▲41.3、置賜では▲38.6と低かった。

また、庄内田川を除く5地域すべてでDI値が前回調査時点より低下するなど、各地で景気の後退が進んでいる。

来期見通し

業況の先行き見通しは、村山北部でDI値が下げ止まりの動きを見せるなど、やや回復期待感が見られた。しかし、それ以外の地域では総じて先行き不安感が高まっており、各地で一進一退の動きを見せながらも、基調として景気の後退が加速していくと思われる。

地域別DI値の推移（前年同期比）



年	月	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H20	08	▲22.0	▲27.9	▲19.5	▲28.6	▲29.9	▲24.0
H20	11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H21	02 (見通し)	▲44.8	▲34.9	▲50.0	▲51.4	▲46.2	▲46.0